

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成27年10月8日(2015.10.8)

【公表番号】特表2015-501021(P2015-501021A)

【公表日】平成27年1月8日(2015.1.8)

【年通号数】公開・登録公報2015-002

【出願番号】特願2014-533353(P2014-533353)

【国際特許分類】

G 0 6 F 21/41 (2013.01)

【 F I 】

G 0 6 F 21/20 1 4 1

【手続補正書】

【提出日】平成27年8月17日(2015.8.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

方法であって、

O A u t h 承認サーバにおいて、前記 O A u t h 承認サーバとは別個の第 1 のリソースサーバから、前記第 1 のリソースサーバが認識するスコープの第 1 のセットを示すメタデータの第 1 のセットを受信することと、

前記メタデータの第 1 のセットを受信するのに応答して、前記 O A u t h 承認サーバにおいて、前記スコープの第 1 のセット中のスコープと前記第 1 のリソースサーバが維持するリソースのサブセットとの間のマッピングを格納することと、

前記 O A u t h 承認サーバにおいて、第 1 のアクセストークンと前記スコープの第 1 のセットからの第 1 のスコープとの間のマッピングを格納することと、

前記 O A u t h 承認サーバにおいて、前記第 1 のリソースサーバから、前記第 1 のアクセストークンを有効化する要求を受信することと、

前記第 1 のアクセストークンを有効化する前記要求を受信するのに応答して、前記 O A u t h 承認サーバが、前記第 1 のアクセストークンと前記第 1 のスコープとの間の前記マッピングに基づいて前記第 1 のアクセストークンを有効化することと、

前記第 1 のアクセストークンを有効化するのに応答して、前記 O A u t h 承認サーバが、前記第 1 のリソースサーバに、前記第 1 のアクセストークンを前記第 1 のリソースサーバに提示したクライアントアプリケーションが、前記第 1 のリソースサーバによって維持されかつ前記第 1 のスコープによって特定されるリソースのセットに対する動作を行なうことを承認されると示すことと、

前記 O A u t h 承認サーバにおいて、前記第 1 のリソースサーバとは別個の第 2 のリソースサーバから、前記スコープの第 1 のセットと異なるスコープの第 2 のセットであって、前記第 2 のリソースサーバによって認識されるスコープの第 2 のセットを示すメタデータの第 2 のセットを受信することと、

前記メタデータの第 2 のセットを受信するのに応答して、前記 O A u t h 承認サーバにおいて、前記スコープの第 2 のセットのスコープと前記第 2 のリソースサーバによって維持されるリソースのサブセットとの間のマッピングを格納することと、

前記 O A u t h 承認サーバにおいて、第 2 のアクセストークンと前記スコープの第 2 のセットからの第 2 のスコープとの間のマッピングを格納することと、

前記 OAuth 承認サーバにおいて、前記第 2 のリソースサーバから、前記第 2 のアクセストークンを有効化する要求を受信することと、

前記第 2 のアクセストークンを有効化する前記要求を受信するのに応答して、前記 OAuth 承認サーバは前記第 2 のアクセストークンを前記第 2 のアクセストークンと前記第 2 のスコープとの間の前記マッピングに基づき有効化することと、

前記第 2 のアクセストークンを有効化するのに応答して、前記 OAuth 承認サーバが、前記第 2 のリソースサーバに、前記第 2 のアクセストークンを前記第 2 のリソースサーバに提示したクライアントアプリケーションが、前記第 2 のリソースサーバによって維持されかつ前記第 2 のスコープによって特定されるリソースのセットに対する動作を行なうことを承認されると示すことと、を備え、

前記 OAuth 承認サーバは前記第 1 のリソースサーバによって維持される前記リソースのセットを管理しない、方法。

【請求項 2】

前記 OAuth 承認サーバにおいて、前記第 1 のスコープを特定する特定の要求を受信することと、

前記第 1 のスコープを特定する前記要求を受信するのに応答して、前記 OAuth 承認サーバが、前記第 1 のスコープと整合するクライアントアプリケーションアクセスを認める同意を、前記第 1 のスコープ内に含まれるリソースの所有者に求めることと、

前記所有者から前記同意を受信するのに応答して、前記 OAuth 承認サーバが、( a ) 前記第 1 のアクセストークンを作成することと、( b ) 前記第 1 のアクセストークンと前記第 1 のスコープとの間の前記マッピングを格納することと、( c ) 前記第 1 のアクセストークンを前記クライアントアプリケーションに送ることとをさらに備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記メタデータの第 1 のセットを受信するのに応答して、前記 OAuth 承認サーバにおいて、前記第 1 のスコープと、前記第 1 のリソースサーバによって格納されるリソースの第 1 のサブセットと、前記第 1 のスコープにマッピングされたトークンの保持者が前記リソースの第 1 のサブセット中のリソースに対して行なうことを許される動作の第 1 のセットとの間のマッピングを格納することをさらに備える、請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記第 1 のアクセストークンを有効化することは、前記 OAuth 承認サーバが、前記 OAuth 承認サーバを提供しないカスタマーによって提供されるプログラムのコードを呼出すことを備え、前記プログラムのコードは前記 OAuth 承認サーバのプロバイダが前記カスタマーに提供するインターフェイスを実現し、前記プログラムのコードは前記第 1 のアクセストークンを有効化する、請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 5】

前記 OAuth 承認サーバにおいて、前記第 1 のスコープを特定する特定の要求を受信することと、

前記第 1 のスコープを特定する前記要求を受信するのに応答して、前記 OAuth 承認サーバが、前記第 1 のスコープと整合するクライアントアプリケーションアクセスを認める同意を、前記第 1 のスコープ内に含まれるリソースの所有者に求めることと、

前記所有者から前記同意を受信するのに応答して、前記 OAuth 承認サーバが、前記 OAuth 承認サーバを提供しないカスタマーによって提供されるプログラムのコードを呼出すこととをさらに備え、前記プログラムのコードは前記 OAuth 承認サーバのプロバイダが前記カスタマーに提供するインターフェイスを実現し、前記プログラムのコードは前記第 1 のアクセストークンを作成する、請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 6】

1つ以上のプロセッサによって実行されると、当該1つ以上のプロセッサに、

OAuth承認サーバにおいて、前記OAuth承認サーバとは別個の第1のリソースサーバから、前記第1のリソースサーバが認識するスコープの第1のセットを示すメタデータの第1のセットを受信することと、

前記メタデータの第1のセットを受信するのに応答して、前記OAuth承認サーバにおいて、前記スコープの第1のセット中のスコープと前記第1のリソースサーバが維持するリソースのサブセットとの間のマッピングを格納することと、

前記OAuth承認サーバにおいて、第1のアクセストークンと前記スコープの第1のセットからの第1のスコープとの間のマッピングを格納することと、

前記OAuth承認サーバにおいて、前記第1のリソースサーバから、前記第1のアクセストークンを有効化する要求を受信することと、

前記第1のアクセストークンを有効化する前記要求を受信するのに応答して、前記OAuth承認サーバが、前記第1のアクセストークンと前記第1のスコープとの間の前記マッピングに基づいて前記第1のアクセストークンを有効化することと、

前記第1のアクセストークンを有効化するのに応答して、前記OAuth承認サーバが、前記第1のリソースサーバに、前記第1のアクセストークンを前記第1のリソースサーバに提示したクライアントアプリケーションが、前記第1のリソースサーバによって維持されかつ前記第1のスコープによって特定されるリソースのセットに対する動作を行なうことを承認されると示すことと、

前記OAuth承認サーバにおいて、前記第1のリソースサーバとは別個の第2のリソースサーバから、前記スコープの第1のセットと異なるスコープの第2のセットであって、前記第2のリソースサーバによって認識されるスコープの第2のセットを示すメタデータの第2のセットを受信することと、

前記メタデータの第2のセットを受信するのに応答して、前記OAuth承認サーバにおいて、前記スコープの第2のセットのスコープと前記第2のリソースサーバによって維持されるリソースのサブセットとの間のマッピングを格納することと、

前記OAuth承認サーバにおいて、第2のアクセストークンと前記スコープの第2のセットからの第2のスコープとの間のマッピングを格納することと、

前記OAuth承認サーバにおいて、前記第2のリソースサーバから、前記第2のアクセストークンを有効化する要求を受信することと、

前記第2のアクセストークンを有効化する前記要求を受信するのに応答して、前記OAuth承認サーバは前記第2のアクセストークンを前記第2のアクセストークンと前記第2のスコープとの間の前記マッピングに基づき有効化することと、

前記第2のアクセストークンを有効化するのに応答して、前記OAuth承認サーバが、前記第2のリソースサーバに、前記第2のアクセストークンを前記第2のリソースサーバに提示したクライアントアプリケーションが、前記第2のリソースサーバによって維持されかつ前記第2のスコープによって特定されるリソースのセットに対する動作を行なうことを承認されると示すことと、を行なわせる命令を備え、

前記OAuth承認サーバは前記第1のリソースサーバによって維持される前記リソースのセットを管理しない、コンピュータ読出可能プログラム。

#### 【請求項7】

前記命令は、前記1つ以上のプロセッサによって実行されると、前記1つ以上のプロセッサにさらに

前記OAuth承認サーバにおいて、前記第1のスコープを特定する特定の要求を受信することと、

前記第1のスコープを特定する前記要求を受信するのに応答して、前記OAuth承認サーバが、前記第1のスコープと整合するクライアントアプリケーションアクセスを認める同意を、前記第1のスコープ内に含まれるリソースの所有者に求めることと、

前記所有者から前記同意を受信するのに応答して、前記OAuth承認サーバが、(a

）前記第 1 のアクセストークンを作成することと、（ b ）前記第 1 のアクセストークンと前記第 1 のスコープとの間の前記マッピングを格納することと、（ c ）前記第 1 のアクセストークンを前記クライアントアプリケーションに送ることと、を行なわせる、請求項 6 に記載のコンピュータ読出可能プログラム。

【請求項 8】

前記命令は、前記 1 つ以上のプロセッサによって実行されると、前記 1 つ以上のプロセッサにさらに

前記メタデータの第 1 のセットを受信するのに応答して、前記 O A u t h 承認サーバにおいて、前記第 1 のスコープと、前記第 1 のリソースサーバによって格納されるリソースの第 1 のサブセットと、前記第 1 のスコープにマッピングされたトークンの保持者が前記リソースの第 1 のサブセット中のリソースに対して行なうことを許される動作の第 1 のセットとの間のマッピングを格納することを行なわせる、請求項 6 または 7 に記載のコンピュータ読出可能プログラム。

【請求項 9】

前記第 1 のアクセストークンを有効化することは、前記 O A u t h 承認サーバが前記 O A u t h 承認サーバを提供しないカスタマーによって提供されるプログラムのコードを呼出することを備え、前記プログラムのコードは前記 O A u t h 承認サーバのプロバイダが前記カスタマーに提供するインターフェイスを実現し、前記プログラムのコードは前記第 1 のアクセストークンを有効化する、請求項 6 から 8 のいずれか 1 項に記載のコンピュータ読出可能プログラム。

【請求項 10】

前記命令は、前記 1 つ以上のプロセッサによって実行されると、前記 1 つ以上のプロセッサにさらに

前記 O A u t h 承認サーバにおいて、前記第 1 のスコープを特定する特定の要求を受信することと、

前記第 1 のスコープを特定する前記要求を受信するのに応答して、前記 O A u t h 承認サーバが、前記第 1 のスコープと整合するクライアントアプリケーションアクセスを認める同意を、前記第 1 のスコープ内に含まれるリソースの所有者に求めることと、

前記所有者から前記同意を受信するのに応答して、前記 O A u t h 承認サーバが、前記 O A u t h 承認サーバを提供しないカスタマーによって提供されるプログラムのコードを呼出することを行なわせ、前記プログラムのコードは前記 O A u t h 承認サーバのプロバイダが前記カスタマーに提供するインターフェイスを実現し、前記プログラムのコードは前記第 1 のアクセストークンを作成する、請求項 6 から 9 のいずれか 1 項に記載のコンピュータ読出可能プログラム。

【請求項 11】

O A u t h 承認サーバであって、

第 1 のリソースサーバから、前記第 1 のリソースサーバが認識するスコープの第 1 のセットを示すメタデータの第 1 のセットを受信するように構成される 1 つ以上のプロセッサと、

前記メタデータの第 1 のセットを受信するのに応答して、前記スコープの第 1 のセット中のスコープと前記第 1 のリソースサーバが維持するリソースのサブセットとの間のマッピングを格納するように構成される 1 つ以上のプロセッサと、

第 1 のアクセストークンと前記スコープの第 1 のセットからの第 1 のスコープとの間のマッピングを格納するように構成される 1 つ以上のプロセッサと、

前記第 1 のリソースサーバから、前記第 1 のアクセストークンを有効化する要求を受信するように構成される 1 つ以上のプロセッサと、

前記第 1 のアクセストークンを有効化する前記要求を受信するのに応答して、前記第 1 のアクセストークンと前記第 1 のスコープとの間の前記マッピングに基づいて前記第 1 のアクセストークンを有効化するように構成される 1 つ以上のプロセッサと、

前記第 1 のアクセストークンを有効化するのに応答して、前記第 1 のリソースサーバに

、前記第1のアクセストークンを前記第1のリソースサーバに提示したクライアントアプリケーションが、前記第1のリソースサーバによって維持されかつ前記第1のスコープによって特定されるリソースのセットに対する動作を行なうことを承認されると示すように構成される1つ以上のプロセッサと、

前記 OAuth 承認サーバにおいて、前記第1のリソースサーバとは別個の第2のリソースサーバから、前記スコープの第1のセットと異なるスコープの第2のセットであって、前記第2のリソースサーバによって認識されるスコープの第2のセットを示すメタデータの第2のセットを受信するよう構成される1つ以上のプロセッサと、

前記メタデータの第2のセットを受信するのに応答して、前記スコープの第2のセットのスコープと前記第2のリソースサーバによって維持されるリソースのサブセットとの間のマッピングを格納するよう構成される1つ以上のプロセッサと、

前記 OAuth 承認サーバにおいて、第2のアクセストークンと前記スコープの第2のセットからの第2のスコープとの間のマッピングを格納するよう構成される1つ以上のプロセッサと、

前記第2のリソースサーバから、前記第2のアクセストークンを有効化する要求を受信するよう構成される1つ以上のプロセッサと、

前記第2のアクセストークンを有効化する前記要求を受信するのに応答して、前記第2のアクセストークンを前記第2のアクセストークンと前記第2のスコープとの間の前記マッピングに基づき有効化するよう構成される1つ以上のプロセッサと、

前記第2のアクセストークンを有効化するのに応答して、前記第2のリソースサーバに、前記第2のアクセストークンを前記第2のリソースサーバに提示したクライアントアプリケーションが、前記第2のリソースサーバによって維持されかつ前記第2のスコープによって特定されるリソースのセットに対する動作を行なうことを承認されると示すよう構成される1つ以上のプロセッサと、を備え、

前記 OAuth 承認サーバは前記第1のリソースサーバによって維持される前記リソースのセットを管理しない、 OAuth 承認サーバ。

#### 【請求項12】

前記第1のスコープを特定する特定の要求を受信するよう構成される1つ以上のプロセッサと、

前記第1のスコープを特定する前記要求を受信するのに応答して、前記第1のスコープと整合するクライアントアプリケーションアクセスを認める同意を、前記第1のスコープ内に含まれるリソースの所有者に求めるように構成される1つ以上のプロセッサと、

前記所有者から前記同意を受信するのに応答して、(a)前記第1のアクセストークンを作成し、(b)前記第1のアクセストークンと前記第1のスコープとの間の前記マッピングを格納し、かつ(c)前記第1のアクセストークンを前記クライアントアプリケーションに送るよう構成される1つ以上のプロセッサとをさらに備える、請求項11に記載の OAuth 承認サーバ。

#### 【請求項13】

前記メタデータの第1のセットを受信するのに応答して、前記第1のスコープと、前記第1のリソースサーバによって格納されるリソースの第1のサブセットと、前記第1のスコープにマッピングされたトークンの保持者が前記リソースの第1のサブセット中のリソースに対して行なうことを許される動作の第1のセットとの間のマッピングを格納するよう構成される1つ以上のプロセッサをさらに備える、請求項11または12に記載の OAuth 承認サーバ。

#### 【請求項14】

1つ以上のプロセッサは、前記 OAuth 承認サーバを提供しないカスタマーによって提供されるプログラムのコードを呼出すことによって、少なくとも部分的に、前記第1のアクセストークンを有効化するよう構成され、前記プログラムのコードは前記 OAuth 承認サーバのプロバイダが前記カスタマーに提供するインターフェイスを実現し、前記プログラムのコードは前記第1のアクセストークンを有効化するよう構成される、請求

項 1 1 から 1 3 のいずれか 1 項に記載の O A u t h 承認サーバ。

【請求項 1 5】

前記 O A u t h 承認サーバにおいて、前記第 1 のスコープを特定する特定の要求を受信するように構成される 1 つ以上のプロセッサと、

前記第 1 のスコープを特定する前記要求を受信するのに応答して、前記第 1 のスコープと整合するクライアントアプリケーションアクセスを認める同意を、前記第 1 のスコープ内に含まれるリソースの所有者に求めるように構成される 1 つ以上のプロセッサと、

前記所有者から前記同意を受信するのに応答して、前記 O A u t h 承認サーバを提供しないカスタマーによって提供されるプログラムのコードを呼出するように構成される 1 つ以上のプロセッサとをさらに備え、前記プログラムのコードは前記 O A u t h 承認サーバのプロバイダが前記カスタマーに提供するインターフェイスを実現し、前記プログラムのコードは前記第 1 のアクセストークンを作成するように構成される、請求項 1 1 から 1 4 のいずれか 1 項に記載の O A u t h 承認サーバ。